



第6次東浦町総合計画 第2期基本計画【概要版】 2024年度～2028年度



1 第2期基本計画の策定にあたって

(1) 総合計画の構成・期間

基本構想

基本構想には、少子高齢化や人口減少により大きく社会が変わる中で、東浦町をどんなまちにするのかといった、将来の東浦の姿、それを実現するためのまちづくりの方向性を示しています。

基本計画

基本計画には、基本構想に示された20年後の東浦町の姿を実現するため、東浦町で取り組むべき内容を、様々な分野での取組について示しています。5年間を区切りとして、進み具合や課題を確かめて、次の5年間の基本計画を策定します。

実施計画

実施計画には、基本計画に示された様々な分野での取組を進めるために必要な具体的な事業を示しています。3年間の事業費を含む事業計画を示し、必要に応じ修正を加えながら毎年度策定します。



1 第2期基本計画の策定にあたって

(2) 人口推計から見た将来の課題

総人口

2020年：49,596人



2040年：46,627人

2,969人減少

○総人口の推計から導き出される課題

- 既成市街地での空き家、所有者不明の土地の増加
- 経済活動の縮小
- 耕作放棄地などの増加
- 人口減少に伴う地価下落による地方税の減少
- 対象人口が減少することから統廃合が難しい上下水道などのインフラの更新費用の一人あたりの負担増大

年少人口（0～14歳）

2020年：6,701人



2040年：5,450人

1,251人減少

○年少人口の推計から導き出される課題

- 小中学校の統廃合
- 小中学校の空き教室の増加
- 祭礼、イベントなどの地域活動の縮小

生産年齢人口（15～64歳）

2020年：29,566人



2040年：25,810人

3,756人減少

○生産年齢人口の推計から導き出される課題

- 町内立地企業の労働力不足
- 経済規模の縮小に伴う町内立地企業の撤退や労働力不足による事業規模縮小、撤退
- 祭礼、イベントなどの地域活動の縮小
- 納税者の減少による地方税の減少

1 第2期基本計画の策定にあたって

(2) 人口推計から見た将来の課題

高齢人口のうち前期高齢者 (65～74歳)

2020年：6,290人



2040年：7,020人

730人増加

○高齢人口（前期高齢者）の推計から導き出される課題

- 高齢者の一人暮らしや高齢者のみで暮らす世帯の増加に伴う生活支援が必要な人の増加

高齢人口のうち後期高齢者 (75歳以上)

2020年：6,546人



2040年：8,347人

1,801人増加

○高齢人口（後期高齢者）の推計から導き出される課題

- 高齢者の一人暮らしや高齢者のみで暮らす世帯の増加に伴う生活支援が必要な人の増加
- 医療、介護を必要とする人の増加に対するサービス供給の不足
- 移動手段の確保が困難な高齢者の増加
- 医療費を始め扶助費の大幅な増加

出典

2020年：国勢調査による確定値（年齢不詳は含まれていないため、総人口とは一致しません。）

2040年：国立社会保障・人口問題研究所による推計値（2023年12月発表）

2 第2期基本計画総論

(1) 施策体系図

将来の東浦の姿

「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

- (1) 健康 ①健康づくり
- (2) 社会福祉 ①地域福祉 ②高齢者福祉 ③障がい者（児）福祉 ④児童・母子・父子福祉

2 人を育み、人を活かすまちづくり

- (1) 次世代育成 ①子ども支援 ②学校教育
- (2) 生涯学習 ①生涯学習 ②スポーツ振興 ③文化振興

3 暮らしを守るまちづくり

- (1) 環境 ①地球温暖化防止・廃棄物 ②自然環境保全
- (2) 安全安心 ①河川・治水 ②防災 ③消防・救急 ④交通安全・防犯

4 生活・産業を支える基盤づくり

- (1) 基盤整備 ①市街地・住宅・景観 ②公園・緑地 ③道路 ④公共交通 ⑤上下水道
- (2) 産業振興 ①農業振興 ②工業振興 ③商業振興 ④観光振興

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

- (1) 地域活動 ①地域活動 ②情報共有 ③共生
- (2) 行財政運営 ①行政運営 ②財政運営 ③連携協力 ④公共施設マネジメント

2 第2期基本計画総論

(2) 施策の方向

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

誰もが心身ともに健康で自立して暮らせる取組を推進するとともに、子ども・障がい者（児）・高齢者を地域で見守り、支え合うことで安心して暮らせるまちづくりを進めます。

子育て家庭や高齢者世帯が、孤立感や不安感を抱くことなく、必要な時に必要な情報や支援が受けられる環境づくりに取り組みます。

2 人を育み、人を活かすまちづくり

未来を担う子どもの育みにおいては、教育環境や教育の質の向上などを通じて子どもの成長を重視した取組を進めます。

住民の皆さんが自由に学ぶ機会を選択し、学ぶことができる場づくりを進めるとともに、学習成果を活かす場や活動の継続など、自主的な学習活動を支援します。

また、生涯を通じて文化やスポーツに親しめる環境の整備とともに、文化やスポーツ活動を通じた地域における世代間交流の場をつくります。

3 暮らしを守るまちづくり

地球温暖化防止や資源の有効活用などの環境問題に対し、住民、事業者、行政が一体となって取り組み、自然と調和したうるおいのある生活環境を保全します。

将来の発生が危惧される南海トラフ地震などの自然災害への備えや、防犯、交通安全、消防・救急の充実、通勤・通学に使用する生活道路の安全の確保などに取り組み、住民の皆さんが安心を得られるようなまちづくりを進めます。

2 第2期基本計画総論

(2) 施策の方向

4 生活・産業を支える基盤づくり

少子化・高齢化・人口減少といった社会環境の変化に対応するためには、その対応の原資となる経済活動の活性化が欠かせないことから、東浦町の恵まれた立地を活かした産業振興に取り組みます。

また、移動しやすく暮らしやすいコンパクトなまちづくりの推進により、徒歩で生活できるまちの実現に向けて取り組みます。

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

自分たちの暮らす地域の人々とつながり、地域の課題を協力して解決するなど、地域を維持する・つなぐ仕組みづくりに取り組みます。また、行政サービス提供の場であり、地域での活動の拠点ともなる公共施設のあり方については、住民の皆さんとともに検討し最適なあり方を目指します。



2 第2期基本計画総論

(3) 土地利用計画

新市街地系、住宅系土地利用 ～利便性の高い住まいのあるまちに～

既成市街地の大半が人口集中地区となっており、まとまった余白のない状態※です。新たな住民を受け入れるため、既成市街地に隣接する地域に住宅地を整備するとともに、幹線道路や生活道路の整備を推進します。また、日常生活に必要なまちの機能が住まいの身近なところに集まり、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めていくとともに、緑や景観と調和した住みやすい住環境をつくりまします。

※2020年時点で、町域の18.5%の土地に人口の69.5%が居住しています。

商業系土地利用 ～にぎわいがあふれる便利なまちに～

鉄道駅や周辺幹線道路を中心に商業集積を図り、町内に住んでいる人、町外から訪れる通勤、通学者が利便性を享受できる商業地を形成します。大型商業施設や既存の商店街のバランスも勘案しつつ、ニーズに応じた魅力あるまちづくりに努めます。

工業系土地利用 ～新たな企業を受け入れるまちに～

名古屋市や中部国際空港に近い立地や将来想定される名古屋三河道路などの利便性を活かし、新たな企業を誘致します。また、開発にあたっては周辺環境との調和を図り計画的に進めるとともに、近隣市町への広域的な交通利便性を高める都市計画道路の整備を進めます。

2 第2期基本計画総論

(3) 土地利用計画

新産業系土地利用 ～健康な生活ができるまちに～

あいち健康の森とその周辺をウェルネスバレーと称し、この地区で健康長寿の一大拠点を目指すウェルネスバレー構想を引き続き進めていきます。この地区では、都市計画道路の整備と合わせて工業・物流企業の立地を図るとともに、特に健康・医療・福祉といった健康長寿関連産業などの企業を誘致し、新たな産業地の形成を目指します。

農業系・樹林系土地利用 ～緑や景観と調和のとれたまちに～

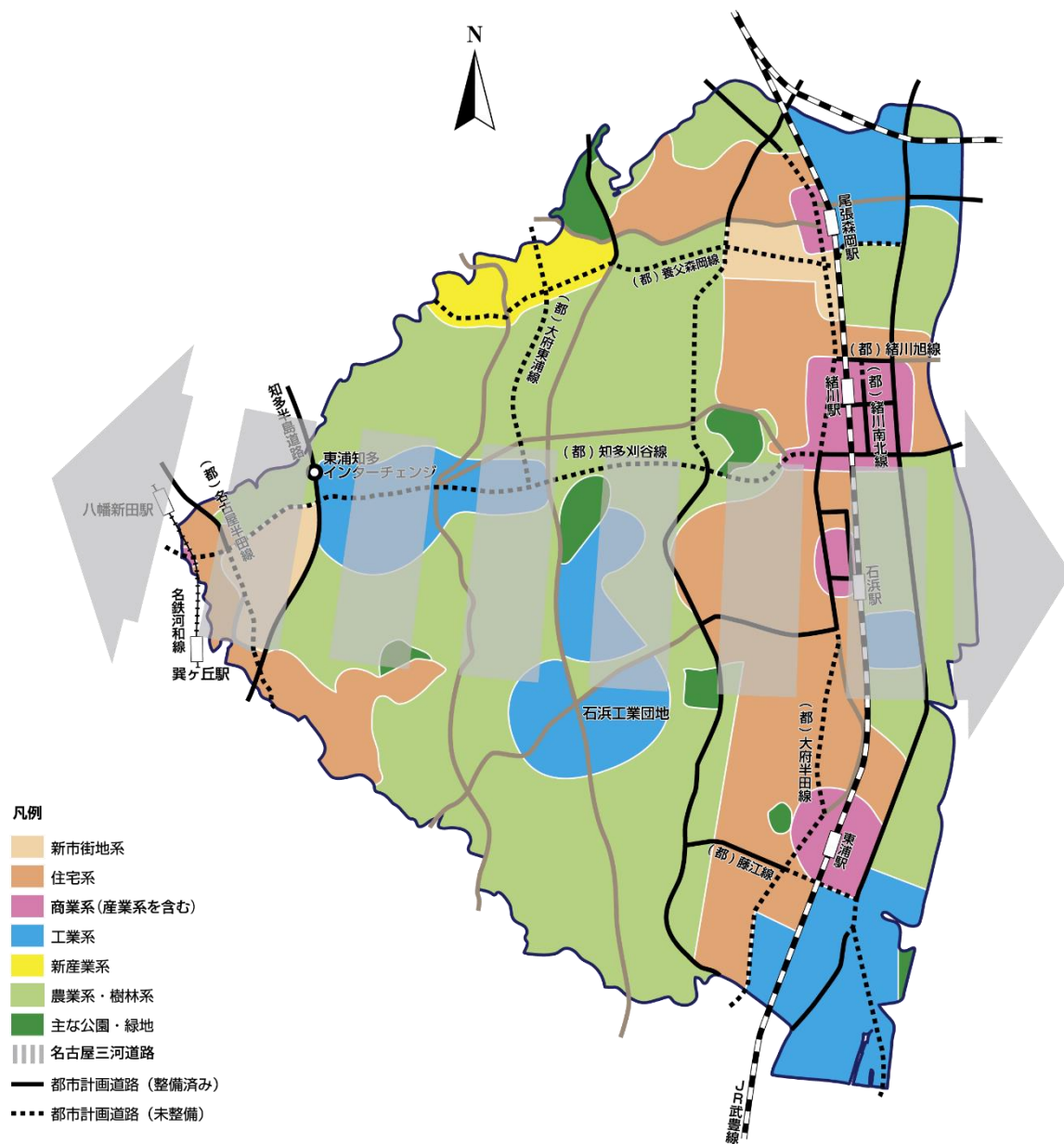
農地を集積、集約化し、農業の効率化を図り、農地の持つ景観や防災、環境保全などの多面的機能の維持、増進を図ります。
東浦町の魅力である緑豊かな環境を保全し、自然や景観と調和したまちづくりを進め、東浦町に住む人や町外から訪れた人が楽しむことのできるレクリエーション空間としても活用します。



2 第2期基本計画総論

(4) 土地利用構想図

15年後の「つくる つながる ささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」の実現に向けて、必要な住宅地開発の促進地域や企業誘致の推進地域など、将来の土地利用を示しています。現時点では決定していない東浦町域を含む国、県の幹線道路整備、インフラ整備等の進捗を反映させ、現時点では想定できない社会環境の変化などに対応するため、5年ごとに見直します。



3 第2期基本計画各論

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(1) 健康

施策①健康づくり

- 取組① 健康づくり活動の推進
- 取組② 病気の予防・早期発見・重症化予防の推進
- 取組③ 母子保健の充実

(2) 社会福祉

施策①地域福祉

- 取組① 地域福祉活動の促進
- 取組② 地域福祉推進体制の充実

施策②高齢者福祉

- 取組① 生活支援体制の充実
- 取組② 生きがいづくりと社会参加の促進
- 取組③ 介護に対する取組の充実

施策③障がい者（児）福祉

- 取組① 社会参加の促進
- 取組② 障がい者支援のサービス提供体制の充実
- 取組③ 地域生活支援の充実
- 取組④ 障がい者の健康保持

施策④児童・母子・父子福祉

- 取組① 子どもへの支援の充実
- 取組② 児童虐待の防止
- 取組③ 就業支援・子育て支援の充実
- 取組④ 子どもの健康保持

3 第2期基本計画各論

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 次世代育成

施策①子ども支援

- 取組① 保育環境の充実
- 取組② 子育てを支える環境の充実
- 取組③ 保育環境の確保

施策②学校教育

- 取組① 学校教育の充実
- 取組② いじめ・不登校対策の実施
- 取組③ 学校生活の支援
- 取組④ 特色のある学校づくり
- 取組⑤ 学校給食の充実
- 取組⑥ 教育施設の整備

(2) 生涯学習

施策①生涯学習

- 取組① 生涯学習機会の充実
- 取組② 図書館機能・サービスの充実
- 取組③ 青少年育成の環境づくり
- 取組④ 社会教育施設の整備

施策②スポーツ振興

- 取組① 子どもたちの体力向上
- 取組② 住民に向けたスポーツ振興
- 取組③ スポーツ活動団体の育成
- 取組④ スポーツ施設の整備

施策③文化振興

- 取組① 郷土の歴史、文化財の保存・活用
- 取組② 郷土の伝統文化の継承
- 取組③ 文化・芸術活動の推進

3 第2期基本計画各論

3 暮らしを守るまちづくり

(1) 環境

施策①地球温暖化防止・廃棄物
取組① 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
取組② 地球温暖化の防止
取組③ 不法投棄させない環境づくり

施策②自然環境保全
取組① 豊かな自然と生活環境の保全活動の推進
取組② 生物多様性に関する取組の推進

(2) 安心安全

施策①河川・治水
取組① 雨水流出抑制の推進
取組② 雨水施設の整備と維持管理

施策②防災
取組① 防災組織体制の強化
取組② 要配慮者対策の充実
取組③ 各家庭における備えの強化

施策③消防・救急
取組① 消防体制の強化
取組② 初期救急対応の強化
取組③ 消防水利の維持管理

施策④交通安全・防犯
取組① 交通安全意識の向上
取組② 防犯活動の充実

3 第2期基本計画各論

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備

施策①市街地・住宅・景観

- 取組① 新市街地の整備
- 取組② 既成市街地の整備
- 取組③ 空き家対策
- 取組④ 景観形成の充実

施策②公園・緑地

- 取組① 公園の管理運営
- 取組② 緑化の振興

施策③道路

- 取組① 幹線道路の整備
- 取組② 生活道路の整備
- 取組③ 道路施設等の維持管理

施策④公共交通

- 取組① 町運行バス「う・ら・ら」の充実
- 取組② 鉄道の利便性の充実
- 取組③ 民間バス・タクシー等の維持存続

施策⑤上下水道

- 取組① 水道施設等の維持管理
- 取組② 事業経営の安定化
- 取組③ 公共下水道の整備及び維持管理

(2) 産業振興

施策①農業振興

- 取組① 農業基盤の維持・整備
- 取組② 農地の利用の最適化の推進
- 取組③ 農業経営と新規就農の支援

施策②工業振興

- 取組① 中小企業の振興
- 取組② 企業の誘致

施策③商業振興

- 取組① 経営支援・経営基盤強化
- 取組② 商業者の育成
- 取組③ 駅周辺の活性化

施策④観光振興

- 取組① 観光や物産のPR推進
- 取組② 住民も楽しめる観光の推進

3 第2期基本計画各論

5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動

施策①地域活動

- 取組① 地域の担い手の確保育成
- 取組② 連携、協力しやすい環境の整備

施策②情報共有

- 取組① 情報発信の充実
- 取組② 広聴の充実

施策③共生

- 取組① 多文化共生の理解促進
- 取組② 多様な生き方の尊重

(2) 行財政運営

施策①行政運営

- 取組① 変化に対応できる行政運営
- 取組② デジタル技術を活かした行政運営

施策②財政運営

- 取組① 健全財政の維持

施策③連携協力

- 取組① 他自治体との連携の推進
- 取組② 大学などとの連携の強化

施策④公共施設マネジメント

- 取組① 公共施設等の管理、運営

参考資料

成果指標一覧

1 いつまでもいきいきと暮らせる健康づくり

(1) 健康

①健康づくり

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
特定保健指導実施率	67.7%（2021）	69.0%	↗
メタボリックシンドローム該当者割合	22.8%（2021）	21.2%	↘
特定健診実施率	50.4%（2021）	60.0%	↗

(2) 社会福祉

①地域福祉

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
ボランティア等登録団体数	119団体	143団体	↗
居場所の拠点数	31箇所	43箇所	↗

②高齢者福祉

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
認知症サポーター養成講座受講者延べ人数	11,899人	19,099人	↗
「老人憩の家」の利用者延べ人数	27,874人	38,945人	↗

③障がい者（児）福祉

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
グループホーム利用者数	52人	65人	↗
就労支援系サービス利用日数	31,706日	42,500日	↗
施設入所者の地域生活への移行者数	4人	3人	↗
「地域活動支援センター事業」の実利用者数	76人	88人	↗

④児童・母子・父子福祉

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
1年以上継続してひとり親手当を受給している未就労者数	32人	20人	↘
児童虐待件数	7件	0件	↘

2 人を育み、人を活かすまちづくり

(1) 次世代育成

① 子ども支援

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
ファミリーサポートセンター会員数	325人	350人	↗
ファミリーサポートセンター利用者数	986人	1,200人	↗
利用者支援専門員の配置数	3人	5人	↗

② 学校教育

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
不登校児童生徒の割合	4.02%	4.56%	↘
支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率	41.2%	50.0%	↗
学校給食の地産地消率	46.0%	50.0%	↗

(2) 生涯学習

① 生涯学習

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
新規教室・講座参加率	77.0%	80.0%	↗
中央図書館の来館者数	111,260人	111,000人	→
電子図書館の利用数	2,688回	4,000回	↗

② スポーツ振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
小学5年生の新体力テストの総合評価がC以上の割合	62.6%	80.0%	↗
スポーツイベント参加人数	875人	1,106人	↗
町スポーツ協会（旧体育協会）の競技団体登録者数	2,360人	2,351人	↗
学校開放延利用者数	83,907人	84,000人	↗

③ 文化振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
文化協会の会員数	385人	385人	→
郷土資料館の来館者数	19,821人	25,000人	↗
東浦ふるさとガイド協会の会員数	35人	40人	→

3 暮らしを守るまちづくり

(1) 環境

①地球温暖化防止・廃棄物

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
一人一日あたりの家庭系ごみの量	469 g	429 g	↘
リサイクル率	20.7%	28.0%	↗
二酸化炭素の年間排出量	277千 t -CO2 (2020)	208千 t -CO2 (2030)	↘

②自然環境保全

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
里山の保全活動の参加者年間延べ人数	2,899人	5,000人	↗
生物多様性に関わる自然観察会等の参加者年間延べ人数	120人	180人	↗

(2) 安心安全

①河川・治水

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
雨水幹線の浸水対策実施率	-	100%	↗
雨水貯留浸透施設設置補助金の年間件数	9件	15件	↗

②防災

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
地区防災計画の作成率	19.0%	100%	↗
住宅の耐震化率	82.6%	98.0%	↗
個別避難計画作成率	-	100%	↗

③消防・救急

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
救命講習会などの受講者数	1,362人	3,000人	↗
自主防災訓練回数	14回	36回	↗
消防水利の充足率	93.1%	94.6%	↗

④交通安全・防犯

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
交通事故発生件数（人身事故）	151件	114件	↘
侵入盗認知件数	22件	11件	↘
防犯ボランティア登録者数	1,103人	1,313人	↗

4 生活・産業を支える基盤づくり

(1) 基盤整備

①市街地・住宅・景観

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
居住誘導区域内の可住地人口密度	93.3人/ha（2020）	88.0人/ha以上	↘
鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率	95.1%（2020）	95.1%以上	↗
景観重点地区設定数	0地区	1地区	↗
管理不全空家件数	7件	4件	↘

②公園・緑地

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
協働による管理運営を実施している公園数	16公園	18公園	↗
住民一人あたりの公園面積	7.9㎡	8.3㎡	↗

③道路

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
都市計画道路の整備率	47.3%	48.9%	↗
橋梁（きょうりょう）の修繕対策実施率	71.0%	75.7%	↗

④公共交通

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
町運行バス「う・ら・ら」利用者数	247,412人	260,000人	↗

⑤上下水道

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
水道管の耐震化率	26.0%	29.0%	↗
公共下水道整備面積	659.4ha	721.4ha	↗
処理区域内未接続世帯数	2,545世帯	2,395世帯	↘

(2) 産業振興

① 農業振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
新規就農者年間人数（累計）	10人	22人	↗
遊休農地面積	28ha	12ha	↘

② 工業振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
法人住民税課税事業所数（製造業）	71事業所	126事業所	↗

③ 商業振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
法人住民税課税事業所数（卸売業・小売業）	85事業所	150事業所	↗

④ 観光振興

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
於大まつり来場者数	6,000人	7,000人	↗
観光協会ホームページ年間アクセス数	28,675件	40,000件	↗



5 地域を維持する・つなぐ仕組みづくり

(1) 地域活動

① 地域活動

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
行政の行う事業に連携して活動する目的型組織の団体数	81団体	93団体	↗
アダプトプログラムの登録団体数	48団体	60団体	↗

② 情報共有

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
ホームページの年間アクセス数	1,104,500件	1,035,625件	↗
町民の声（住民懇談会の参加者を含む）の年間受信件数	177件	188件	↗

③ 共生

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
日本語教室の平均参加者数	12人	15人	↗
各種委員会の女性委員比率	28.0%	40.0%	↗

(2) 行財政運営

① 行政運営

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
総合計画の進行管理のために設定した指標の達成割合	34%	100%	↗
IoT等デジタル技術を活用した業務改善、業務改革の取組件数（累計）	-	5件	↗

② 財政運営

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
経常収支比率	86.6%	90.0%	↗
実質公債費比率	-0.1%	3.0%	↗

③ 連携協力

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
相互利用が可能な他市町村の公共施設数	114施設	120施設	↗
連携・協力の協定を締結する大学との連携延べ事業数	13件	20件	↗

④ 公共施設マネジメント

指標名	現状値（2022）	目標値（2028）	15年後の方向性
公共施設（建物）の延床面積	133,900㎡	133,379㎡	↘